

令和８年度 第１回単位ＰＴＡ会議 研究協議 議事録

日時：令和８年９月２５日（金） １５：００～１６：３０

場所：アップルパレス青森 ねぶたの間

内容：テーブルディスカッション

テーマ「高校生の県内定着に向けて」

研究協議・県内定着に関する要点まとめ

1. 高校生の進路傾向

- ・ 進学希望者は県外志向が強い
- ・ 就職希望者は県内志向が強い（６～７割）
- ・ 農業・水産・工業系は県内就職が多い
- ・ 普通科は進学中心で、目的が明確な場合に県外進学

2. 親の影響が非常に大きい

- ・ 就職・進学の判断は 親の考えに左右されやすい
- ・ 親の仕事ぶりや価値観が子どもの将来像に影響
- ・ 親子で話し合う機会が不足しているとの指摘

3. 県内企業の現状と課題

- ・ 給与・福利厚生は改善傾向
- ・ 介護・印刷・レンタル業などは人手不足
- ・ 若者に「地味」「魅力が分かりにくい」と思われる業種もある
- ・ 商工会議所などは若者に活動内容が伝わっていない

4. 県外に出る理由・戻らない理由

- ・ 都会への憧れが強い
- ・ 学びたい分野が県内にないケースが多い
- ・ 収入は県外の方が高い場合がある
- ・ 一度出ると戻らないケースも多いが、年齢を重ねると青森に戻りたくなる傾向もある

5. Uターン・県内定着のために必要なこと

- ・ 県内企業の魅力発信（イベント・企業説明会）
- ・ 奨学金返還支援は効果的
- ・ 親子で進路を話し合う機会の創出
- ・ 地域の魅力（祭り・文化・環境）を伝える

- ・ 企業誘致・職種の多様化
- ・ 「帰ってこられる場所づくり」が重要

6. 学校・地域の具体的な声

- ・ 工業高校は県内就職が多い
- ・ 商業高校は進学が多いが、就職希望者は県内志向
- ・ 家業（農業・漁業）を継ぐ生徒も一定数
- ・ 保護者の就職観が子どもに強く影響
- ・ 地域によって求人状況・魅力が大きく異なる

✓ 全体の結論（最重要ポイント）

- ・ 県内就職希望は多いが、進学希望者は県外へ向かう構造が続いている。
- ・ 親の影響が大きく、家庭での対話が県内定着の鍵。
- ・ 県内企業の魅力発信・Uターン支援・地域文化の強みを活かすことが重要。